令和３年３月 26 日(金)

令和３年第１回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会

会　　議　　録

岸和田市貝塚市清掃施設組合

令和３年第１回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会議事日程

令和３年３月26日（金）
午後1時30分　　開　議

第　１		会期決定について
第　２	議案第１号	岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結について
第　３	議案第２号	令和２年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第２号）
第　４	議案第３号	令和３年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計予算
第　５	議案第４号	公平委員会の委員選任につき同意を求めるについて

出席議員（14名）

1番	井	舎	英	生	2番	宇	野	真	悟
3番	岡	林	憲	二	4番	烏	野	隆	生
5番	来	原	佳	一	6番	中	井	良	介
7番	西	田	武	史	8番	米	田	貴	志
9番	牛	尾	治	朗	10番	川	岸	貞	利
11番	北	尾	修		12番	中	山	敏	数
13番	真	利	一	朗	14番	藪	内	留	治

欠席議員（なし）

出席議事説明員

管理者	永	野	耕	平	副管理者	藤	原	龍	男
事務局長	谷	藤	健		事務局次長	楢	﨑	賀	代
総務課長	上	村	昌	生	環境技術課長	猪	口	昌	宏
基幹整備担当参事	太	田	健	一					

午後１時50分開会

○真利一朗議長

ただいまから令和３年第１回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を開会いたします。

まず、議員出席状況を事務局から報告させます。

○事務局

議員出席状況についてご報告申し上げます。

ただいまの出席議員は14名でございます。

以上で報告を終わります。

○真利一朗議長

ただいまの報告のとおり、出席議員14名をもちまして会議は成立いたしておりますので、これより本日の会議を開きます。

次に、本日の会議録署名者は、施設組合議会会議規則第101条の規定により、私から、８番米田貴志議員、９番牛尾治朗議員を指名いたします。

次に、本定例会における議事説明員は、お手元までご配付しておりますとおりでありますので、報告いたします。

次に、令和２年９月分から令和３年１月分までの５か月分の例月出納検査結果報告につきましては、さきに議員各位にご送付いたしておりますとおりであります。

本各件について質疑のある方は発言を願います。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ないようですので、本報告を終わります。

これより日程に入ります。

日程第１、会期決定についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日の１日といたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は１日に決定いたしました。

次に、日程第２、議案第１号岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結についてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第１号岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結について、提案理由のご説明を申し上げます。

本件は、岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事を実施しようとするものであり、総合評価落札方式一般競争入札により業者選定を実施した結果、ヒデイ建設特定建設工事共同企業体が７億3,700万円で落札いたしましたので、同社と工事請負契約を締結しようとするものであります。

何とぞよろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては事務局長に説明させますので、よろしくお願いいたします。

○真利一朗議長

次に、補足説明を求めます。谷藤事務局長。

○谷藤　健事務局長

それでは、議案第１号岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の概要について、ご説明させていただきます。

今回の工事は、長寿命化総合計画に基づき、臨海部に位置していることから強風や塩害により劣化の激しい建屋外壁等の大規模改修を行うもので、業者選定に当たりましては、大規模改修工事業者選定委員会を設置し、総合評価落札方式一般競争入札を行いました。

当初、３者から参加申込みがありまして、一次審査では３者とも参加資格を満たしておりましたが、２者から辞退届の提出がございました。その後、二次審査として、大規模改修工事業者選定委員会において技術提案者からのプレゼンテーション、ヒアリングを実施いたしまして、そのヒアリング結果及び評価基準書による技術評価点の評価を行った後、入札による価格評価を実施いたしました。その結果、７億3,700万円でヒデイ建設特定建設工事共同企業体が落札者となり、同社と工

事請負契約を締結しようとするものであります。

以上が工事請負契約に至る説明でございます。何とぞよろしくお願いいたします。

○真利一朗議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。川岸議員。

○１０番　川岸貞利議員

何点かお伺いします。まず、選定委員会の構成メンバーについて教えていただけますか。以前、選定委員会は学識経験者が２名以上となっていましたが、構成メンバーを教えてください。

○真利一朗議長

太田基幹整備担当参事。

○太田健一基幹整備担当参事

構成メンバーにつきましては、学識経験者２名、あと岸和田市建設部長、貝塚市都市整備部長、岸和田市貝塚市清掃施設組合事務局長、岸和田市貝塚市清掃施設組合事務局次長の６名となっております。

○真利一朗議長

川岸議員。

○１０番　川岸貞利議員

次に、一次審査のときは３者あり、２者が辞退とのことですが、当然ながら、ホームページで全部公開していただいています。この２者が辞退した理由というのは何でしょうか。教えてください。

○真利一朗議長

太田参事。

○太田健一基幹整備担当参事

２者の辞退理由については、主に現場代理人等の技術者が不足しているということが、２者ともの説明内容でした。

以上です。

○真利一朗議長

川岸議員。

○１０番　川岸貞利議員

そうしますと、もともとの基準書で、技術者は何名以上でしょうか。額によって人数も違ってくると思うのですが、基準では何名以上で、その２者から何名出たのか教えていただけますか。

○真利一朗議長

太田参事。

○太田健一基幹整備担当参事

基準では、監理技術者資格を持ったものが１名となっております。

○真利一朗議長

川岸議員。

○１０番　川岸貞利議員

あと確認なのですが、例えば業者から見て、選定委員会のうち学識経験者の氏名とか、あるいはどの業者から申し込んだのか一切非公開というふうに私は思っているのですが、その辺りはいかがでしょうか。

○真利一朗議長

太田参事。

○太田健一基幹整備担当参事

川岸議員のおっしゃるとおり、構成委員については非公開とし、業者同士の顔合わせ等も行われないように配慮して、事務を進めてまいりました。

○真利一朗議長

川岸議員。

○１０番　川岸貞利議員

分かりました。あと、これから述べるのは私の意見です。最近、業者の選定委員会やそのメンバー構成についてですが、メンバーの半数以上が学識経験者や外部の委員から構成される傾向にあります。これはやはり公平、公正、透明性の観点によるものだと思いますので、今後こうした機会があれば、それも１つ検討していただきたいという意見を述べさせていただきます。

○真利一朗議長

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

質疑が終わったものと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

討論なしと認めます。

これより議案第１号を採決いたします。

本件は原案のとおり可とすることに決しましてご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

次に、日程第３、議案第２号令和２年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第２号）を議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第２号令和２年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第２号）につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

今回の補正予算につきましては、歳出の補正はございませんが、歳入につきまして、第６款第１項組合債第１目清掃施設整備事業債において、ごみ処理施設増設事業債が、びん・缶投入コンベアチェーン取換工事や不燃性粗大ごみ破砕機炎検知装置設置の追加工事等で510万円増額となりましたので、第１款第１項分担金を同額の510万円減額しようとするものであります。

また、併せて補正予算書第２表のとおり、地方債の限度額を同額増額するものです。

以上のとおりでありますので、何とぞよろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

○真利一朗議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

討論なしと認めます。

これより議案第２号を採決いたします。

本件は原案のとおり可とすることに決しましてご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

次に、日程第４、議案第３号令和３年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計予算を議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第３号令和３年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計予算につきまして、提案理由をご説明申し上げます。

本組合の令和３年度歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ39億5,120万４千円で、前年度に比べて16.4％、７億7,391万６千円の減額計上であります。

予算の内容につきまして、まず、歳出から科目別にご説明申し上げます。

第１款議会費は、議会運営に要する諸経費であり、365万３千円の計上で、前年度に比べて１千円の増額であります。

次に、第２款総務費は、組合の運営及び施設の維持管理並びに施設整備等に要する経費であり、34億3,737万５千円の計上で、前年度に比べて9.4％、３億5,742万８千円の減額であります。

次に、第１項総務費のうち総務管理費は、予算の性質別に整理を行い、これまでの一般管理費と総務管理費を統合いたしました。予算額は２億2,424万４千円の計上で、前年度の一般管理費と総務管理費の合計に比べて2.7％、579万９千円の増額であります。

次に、公平委員会費は、７万３千円の計上であります。

次に、監査委員費は、15万４千円の計上で、前

年度に比べて28.7%、６万２千円の減額であります。

次に、第２項施設費の施設管理費は、32億1,290万４千円の計上で、前年度に比べて10.2%、３億6,316万５千円の減額であります。減額の主なものは、基幹的設備改良事業費であります。

次に、第３款公債費は５億717万６千円の計上で、前年度に比べて45.1%、４億1,648万９千円の減額であります。

次に、歳入につきましてご説明申し上げます。

分担金で23億2,780万７千円、使用料及び手数料で３億5,725万円、国庫支出金で１億9,555万５千円、繰越金で１千円、諸収入で３億149万１千円、組合債で７億6,910万円でありまして、これら財源をもって本組合に係る経費に充当しようとするものであります。

以上、提案理由をご説明申し上げましたが、何とぞよろしくご審議の上、ご議決賜りますようお願い申し上げます。

なお、詳細につきましては、事務局長に説明させますので、よろしくお願いいたします。

○真利一朗議長

次に、補足説明を求めます。谷藤事務局長。

○谷藤　健事務局長

それでは、令和３年度一般会計予算につきまして、詳細のご説明を申し上げます。

まず歳出からご説明いたします。

予算書16、17ページをお願いいたします。

第１款第１項第１目議会費に365万３千円の計上で、前年度に比べ１千円の増加でございます。

次に、第２款第１項総務費でございます。なお、総務費につきましては、先ほど管理者からも説明がありましたように、昨年度まで第１目一般管理費、第２目総務管理費、第３目公平委員会費、第４目監査委員会費としておりましたが、一般管理費と総務管理費を性質別に整理いたしまして、総務管理費としましては、第１目総務管理費、第２目公平委員会費、第３目監査委員費としております。そのため、前年度額につきましては、令和２年度の一般管理費、総務管理費の合計額となっております。

それでは、まず第１目総務管理費に２億2,424万４千円の計上で、前年度に比べ2.6%、579万９千円の増加でございます。

詳細につきましては、右ページの事業別区分欄をご覧くださいますようお願いいたします。

職員給与費２億188万１千円は、会計年度任用職員６名を含む施設組合職員27名分の人件費等でございます。

その下、総務管理事業1,476万１千円は、組合運営に要する事務経費でございます。

次に、18、19ページをお願いいたします。

右ページ、事業別区分欄中ほど、電算システム運用事業に618万円の計上で、87万１千円、16.4%の増加でございます。これは従来の電算システム保守委託料、賃借料に加えまして、作成が義務付けられております公会計財務諸表の作成、検証業務を追加したものでございます。

次に、リサイクル啓発事業に134万８千円の計上で、３Ｒふれあいフェア、３Ｒ啓発事業委託料など、展示、啓発事業の運営に必要な経費でございます。

次に、情報公開・個人情報保護事業に７万４千円の計上で、情報公開・個人情報審査会等の関係事務費でございます。

左ページ、18ページでございますが、下から２つ目、第２目公平委員会費は７万３千円の計上で、前年度と同額でございます。

その下、第３目監査委員費が15万４千円の計上で、前年度に比べ６万２千円の減少でございます。

次に、20、21ページをお願いいたします。

第２款第１項総務費の合計が２億2,447万１千円で、前年度に比べ2.6%、573万７千円の増加でございます。

次に、第２項施設費第１目施設管理費でございます。32億1,290万４千円の計上で、前年度に比べ10.2%、３億6,316万５千円の減少でございます。

それでは、右ページ、事業別区分欄に沿って、21ページからご説明申し上げます。

まず、事業別区分欄上から２つ目、施設管理運営事業12億65万３千円は、クリーンセンターの運転管理等に要する経費で、主なものは第10節需用費で、焼却プラント関係の薬品等の消耗品に１億6,894万７千円、電気、下水道等の光熱水費に7,123万７千円、第12節委託料で、工場の運転管理や焼却灰の処分等の施設維持業務委託料に８億7,935万４千円でございます。

次の大阪湾圏域広域処理場整備事業644万６千円は、大阪湾広域廃棄物処理埋立処分場建設委託料でございます。

次のクリーンセンター維持補修事業13億9,994万８千円は、定期点検整備工事などの施設維持に要する経費で、主なものは、施設全般に係る定期点検整備等の工事請負費、災害廃棄物仮置場として、また平常時には一般搬入車両の待機場所として使用するための広場の一部改良工事費が4,420万円、令和２年度から４年間の継続事業として取り組んでおりますクリーンセンター大規模改修工事の焼却棟建物改修事業費１億6,000万円を含む工事請負費が10億1,311万５千円、定期点検整備等の工事に伴う原材料費が２億4,289万７千円でございます。

次の基幹的設備改良事業は、令和元年度から５年間の債務負担行為として取り組んでおります事業の３年度目で６億585万７千円でございます。

次に、22、23ページをお願いいたします。

第３款第１項公債費が償還金元金及び利息で５億717万６千円の計上で、前年度に比べ45.1％、４億1,648万９千円の減少でございます。令和２年度末現在の未償還残高31億2,094万６千円に対する償還元金及び利子で、前年度に比べ、第１目元金で４億776万９千円の減少、第２目利子で872万円の減少でございます。

なお、これらの償還につきましては、主にクリーンセンター建設当時のものでございまして、建設当初の起債につきましては、令和３年度をもって完済予定でございます。

本予算に計上しております令和３年度借入れ予定の組合債７億6,910万円を含めまして、令和３年度末の未償還元金は約34億円となる予定で、令和４年度までは償還額が減少傾向となります。しかし、令和５年度以降は災害復旧債や、基幹的設備改良事業、大規模改修工事に対する起債の償還が始まることから、年次的に償還額が増加いたしまして、年間６億円から７億円程度の償還となる見込みでございます。

次に下段、第４款第１項第１目予備費は300万円で、前年度と同額でございます。

次に、歳入についてご説明申し上げます。

予算書12ページ、13ページにお戻り願います。

第１款第１項分担金第１目組合市分担金が23億2,780万７千円で、前年度と比べ10.5％、２億7,374万３千円の減少でございます。

両市の分担は、２割を均等割、８割を人口割によることが定められておりまして、この割合で算出した岸和田市の負担率が64.984％、貝塚市の負担率が35.016％でございます。

なお、本来ですと、令和２年に国勢調査が実施されておりますので、その速報値をもって算定するところでございますけれども、新型コロナ感染症による影響もございまして、速報値の公表が令和３年６月に延びておりますので、今回の予算における人口割については、平成27年の国勢調査の結果で算定してございます。令和３年度中には令和２年国勢調査の基本集計が公表される予定でございますので、決算時にはその値で清算することを予定しております。

次に、第２款使用料及び手数料第１項使用料第１目総務使用料が172万１千円で、前年度と比べ6.1％、11万１千円の減少でございます。主なものは、組合所有土地使用料及び附属洗車場使用料でございます。

次に、第２款使用料及び手数料第２項手数料第１目焼却手数料は３億5,552万９千円で、前年度に比べ3.4％、1,240万１千円の減少でございます。

これは、事業系ごみ搬入量の減少傾向を見込んだものでございます。

次に、第３款第１項第１目ごみ処理施設基幹的設備改良事業費国庫補助金は１億9,555万５千円で、前年度に比べ19.3％、4,679万４千円の減少でございます。

次に、第４款第１項第１目繰越金は１千円で、前年度と同額でございます。

次に、第５款諸収入第１項第１目雑入が３億149万１千円で、前年度に比べ14.2％、3,743万３千円の増加でございます。電力売払収入の増加を見込んだものでございます。

次に、14、15ページをお願いいたします。

第６款第１項組合債第１目清掃施設整備事業債が７億6,910万円で、前年度に比べ38.1％、４億7,330万円の減少でございます。主にごみ処理施設増設事業、基幹的設備改良事業及びクリーンセンター大規模改修工事に係る起債でございます。

以上が歳入歳出の説明でございます。

続きまして、予算書２ページ、３ページにお戻り願います。

２ページ、３ページは、ただいまご説明いたしました歳入歳出予算の総括表でございます。

次に、４ページをお願いいたします。

こちらは債務負担行為でございます。クリーンセンター運転管理業務委託に関するもので、現在の第３次運転管理委託業務が令和３年度で終了することから、令和４年度から５年間の第４次運転管理委託を行おうとするもので、令和２年第１回議員協議会にお諮りした内容でございます。

その際にもご説明いたしましたが、現在施工しております基幹的設備改良工事が令和５年度終了予定でして、竣工分から順次引渡しを受けております。そこで、新旧設備の切替え、教育訓練などを行いながらの運転となりまして、契約不適合責任期間、つまり旧来の瑕疵担保期間とも重なってくることから、ごみ処理を安定的に進めながら施設の安全性を担保するため、現在の業務を支障なく継続している現運転管理委託業者と随意契約を予定するものであります。

次の５ページは地方債でございます。清掃施設整備事業債として６億2,510万円、クリーンセンター大規模改修事業として１億4,400万円の限度額を定めようとするものでございます。

ただいまの事案も含め、継続費、債務負担行為及び地方債に関する調書並びに給与費明細書につきましては、24ページ以降に記載してございますので、ご確認をお願いいたします。

説明は以上でございます。何とぞよろしくお願いいたします。

○真利一朗議長

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○真利一朗議長

討論なしと認めます。

これより議案第３号を採決いたします。

本件は原案のとおり可とすることに決しましてご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

次に、日程第５、議案第４号公平委員会の委員選任につき同意を求めるについてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。永野耕平管理者。

○永野耕平管理者

ただいま上程の議案第４号公平委員会の委員選任につき同意を求めるについて、提案理由をご説明申し上げます。

公平委員の清原泰司氏が本年３月31日をもって任期満了となりますので、その後任委員として同

氏を選任いたしたく、地方公務員法第９条の２第２項の規定に基づき、議会のご同意を賜りたくご提案申し上げる次第であります。

何とぞご同意賜りますようお願い申し上げます。

○真利一朗議長

この際、お諮りいたします。

本案は、質疑、討論を省略してご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本案は、質疑、討論を省略することに決しました。

これより議案第４号を採決いたします。

本件は原案のとおり同意することに決しましてご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○真利一朗議長

ご異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり同意されました。

以上をもちまして、本定例会の日程は全て終了いたしました。

各案件につきまして慎重にご審議賜り、厚く御礼申し上げます。

これをもちまして、令和３年第１回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を閉会いたします。

午後２時20分閉会

上記会議録の正確なるを証するため、ここに署名する。

岸和田市貝塚市清掃施設組合議会 議　　長　　真　利　　一　朗	
同　　議　　員　　米　田　　貴　志	
同　　議　　員　　牛　尾　　治　朗	

令 和 3 年 第 1 回 組 合 議 会 定 例 会 議 案

議案番号	件　　名
議案第1号	岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結について
議案第2号	令和2年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第2号）
議案第3号	令和3年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計予算
議案第4号	公平委員会の委員選任につき同意を求めるについて

岸 和 田 市 貝 塚 市 清 掃 施 設 組 合

議 案 第 1 号

岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事請負契約の締結について

岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事について、次のとおり請負契約を締結するため、地方自治法第 96 条第1項第5号の規定により議会の議決を求める。

令和3年3月 26 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合
管理者　　永　野　　耕　平

記

1　契約の目的　岸和田市貝塚市クリーンセンター大規模改修工事

1　契約の方法　総合評価一般競争入札

1　契 約 金 額　金737, 000, 000円

1　契約の相手方　ヒデイ建設特定建設工事共同企業体
代表者
岸和田市土生町7丁目13番8号
ヒデイ建設株式会社
代表取締役　　堀田　英治

令和２年度　　補正予算書

岸和田市貝塚市清掃施設組合

議案第２号

令和２年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計補正予算（第２号）

令和２年度岸和田市貝塚市清掃施設組合の一般会計補正予算（第２号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）
第１条　歳入歳出予算の補正の款・項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。
（地方債の補正）
第２条　地方債の変更は、「第２表地方債補正」による。

令和３年３月 26 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合
管理者　永野　耕平

第 1 表　歳 入 歳 出 予 算 補 正

歳　入　　（単位　千円）

款	項	補正前の額	補 正 額	計
1. 分担金		2,541,150	△5,100	2,536,050
	1. 分担金	2,541,150	△5,100	2,536,050
6. 組合債		1,307,800	5,100	1,312,900
	1. 組合債	1,307,800	5,100	1,312,900
歳　入　合　計		4,812,482	0	4,812,482

歳　出　　（単位　　千円）

款	項	補正前の額	補 正 額	計
2. 総務費		3,794,803	0	3,794,803
	2. 施設費	3,576,069	0	3,576,069
歳　出　合　計		4,812,482	0	4,812,482

第２表　地方債補正
(変更分)

起債の目的	補正前									補正後								
	限度額	起債の方法	利率	償還の方法					備考	限度額	起債の方法	利率	償還の方法					備考
				区分	償還期限	据置期間	償還方法	その他					区分	償還期限	据置期間	償還方法	その他	
	千円		%以内		年以内	年以内				千円		%以内		年以内	年以内			
清掃施設整備事業	1,014,800								令和２年11月５日提出議案第12号11月５日可決	1,019,900								

歳 入 歳 出 補 正 予 算 事 項 別 明 細 書

1　総　　括

歳　　入　　（単位　　千円）

款	補正前の額	補　正　額	計
1. 分担金	2,541,150	△5,100	2,536,050
6. 組合債	1,307,800	5,100	1,312,900
歳　　入　　合　　計	4,812,482	0	4,812,482

歳　　出　　（単位　千円）

款	補正前の額	補　正　額	計	補正額の財源内訳			
				特　定　財　源			一　般
				国府支出金	地方債	その他	財　源
2. 総務費	3,794,803	0	3,794,803		5,100		△5,100
歳　出　合　計	4,812,482	0	4,812,482		5,100		△5,100

2　歳　入

（款）1.分担金　　（項）1.分担金

目	補正前の額	補　正　額	計
1. 組合市分担金	2,541,150	△5,100	2,536,050
計	2,541,150	△5,100	2,536,050

（款）6.組合債　　（項）1.組合債

目	補正前の額	補　正　額	計
1. 清掃施設整備事業債	1,302,800	5,100	1,307,900
計	1,307,800	5,100	1,312,900

（単位　千円）

節		説　明
区　分	金　額	
1. 組合市分担金	△5,100	岸和田市・貝塚市分担金
		平成27年10月1日国勢調査　283,605人 岸和田市　194,911人（68.73%） 貝塚市　88,694人（31.27%） △5,100千円×2/10×1/2 = △510,000円 （A） △5,100千円×8/10×68.73/100 = △2,804,184円 （イ） △5,100千円×8/10×31.27/100 = △1,275,816円 （ロ） 岸和田市分担金 （A＋イ） = △3,314,184円 (64.984%) 貝塚市分担金 （A＋ロ） = △1,785,816円 (35.016%)

（単位　千円）

節		説　明
区　分	金　額	
1. 清掃施設整備事業債	5,100	ごみ処理施設増設事業債 23,100 ごみ処理施設基幹的設備改良事業債 △18,000

3　歳　出

（款）2.総務費　　（項）2.施設費

目	補正前の額	補　正　額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
1. 施設管理費	3,576,069	0	3,576,069		5,100		△5,100
計	3,576,069	0	3,576,069		5,100		△5,100

（単位　　千円）

節		説　　明	
区　　分	金額	事　業　別　区　分	内　　訳

地方債の前年度末における現在高及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書

（単位：千円）

区分	前年度末現在高			当該年度中増減見込額						当該年度末現在高見込額		
				当該年度中起債見込額			当該年度中元金償還見込額					
	補正前の額	補正額	補正後の額	補正前の額	補正額	補正後の額	補正前の額	補正額	補正後の額	補正前の額	補正額	補正後の額
1　普通債												
(3) ごみ処理施設増設事業債	947,817	0	947,817	234,400	23,100	257,500	42,198	0	42,198	1,140,019	23,100	1,163,119
(5) ごみ処理施設基幹的設備改良事業債	25,200	0	25,200	775,900	△ 18,000	757,900	0	0	0	801,100	△ 18,000	783,100
計	2,307,488	0	2,307,488	1,302,800	5,100	1,307,900	895,642	0	895,642	2,714,646	5,100	2,719,746
合　計	2,703,688	0	2,703,688	1,307,800	5,100	1,312,900	895,642	0	895,642	3,115,846	5,100	3,120,946

令和３年度　　予　算　書

岸和田市貝塚市清掃施設組合

議案第３号

令和３年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計予算

令和３年度岸和田市貝塚市清掃施設組合の一般会計の予算は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算）

第１条　歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ 3,951,204 千円と定める。

２　歳入歳出予算の款項の区分及び当該区分ごとの金額は、「第１表歳入歳出予算」による。

（債務負担行為）

第２条　地方自治法第 214 条の規定により債務を負担することができる事項、期限及び限度額は、「第２表債務負担行為」による。

（地方債）

第３条　地方自治法第 230 条第１項の規定により起こすことができる地方債の起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、「第３表地方債」による。

（歳出予算の流用）

第４条　地方自治法第 220 条第２項ただし書の規定により歳出予算の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1)　各項に計上した給料、職員手当等及び共済費に係る予算額に過不足を生じた場合における同一款内でのこれらの経費の各項の間の流用

令和３年３月 26 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合

管理者　　永野　耕平

第 1 表　歳 入 歳 出 予 算

歳　入　　（単位　千円）

款	項	金　額
1. 分担金		2,327,807
	1. 分担金	2,327,807
2. 使用料及び手数料		357,250
	1. 使用料	1,721
	2. 手数料	355,529
3. 国庫支出金		195,555
	1. 国庫補助金	195,555
4. 繰越金		1
	1. 繰越金	1
5. 諸収入		301,491
	1. 雑入	301,491
6. 組合債		769,100
	1. 組合債	769,100
歳　入　合　計		3,951,204

歳　出　　（単位　千円）

款	項	金　額
1. 議会費		3,653
	1. 議会費	3,653
2. 総務費		3,437,375
	1. 総務費	224,471
	2. 施設費	3,212,904
3. 公債費		507,176
	1. 公債費	507,176
4. 予備費		3,000
	1. 予備費	3,000
歳　出　合　計		3,951,204

第２表　　債務負担行為

事　　項	期　　間	限　度　額
岸和田市貝塚市クリーンセンター運転管理業務委託料	令和３年度から 令和８年度まで	千円 3,540,339

第３表　　地 方 債

起債の目　的	限度額	起債の方法	利率	償　還　の　方　法					備考
				区分	償還期限	据置期間	償還方法	その他	
清掃施設整備事業	千円 625,100	普通貸借又は証券発行ただし事業の進捗状況により起債額の全部又は一部を起債前借することができる。	10％以内 （ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）	政　府 銀　行 その他	20 年以内	3 年以内	年賦、半年賦、元金均等若しくは元利均等償還又は満期一括償還	必要に応じて繰上償還又は借り換えることができる。	
クリーンセンター大規模改修事業	144,000	普通貸借又は証券発行ただし事業の進捗状況により起債額の全部又は一部を起債前借することができる。	10％以内 （ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）	政　府 銀　行 その他	30 年以内	5 年以内	年賦、半年賦、元金均等若しくは元利均等償還又は満期一括償還	必要に応じて繰上償還又は借り換えることができる。	

予 算 に 関 す る 説 明 書

目　　次

はしがき ―――――――――――――――――――――― 9

１　総　　括 ―――――――――――――――――――――― 10

２　歳　　入 ―――――――――――――――――――――― 12

３　歳　　出 ―――――――――――――――――――――― 16

０１　議会費 ―――――――――――――――――――――― 16

０２　総務費 ―――――――――――――――――――――― 16

０３　公債費 ―――――――――――――――――――――― 22

０４　予備費 ―――――――――――――――――――――― 22

継続費調書 ―――――――――――――――――――――― 25

債務負担行為調書 ―――――――――――――――――――――― 26

地方債調書 ―――――――――――――――――――――― 27

給与費明細書 ―――――――――――――――――――――― 28

は　し　が　き

1　この予算に関する説明書は、地方自治法施行規則第 15 条の 2 による別記様式に基づき作成したものである。

2　この予算に関する説明書のうち、前年度予算額は令和2年度当初予算額である。

3　歳入歳出予算額は千円単位であるため、千円未満を切り上げ又は切り捨ての処置を行った。

4　人件費中職員手当及び共済費は、おおむね次により計算した。

(1)	地　域　手　当	本俸、扶養手当、管理職手当の 100 分の 6
(2)	期末及び勤勉手当	人事院勧告に基づく基本給月額の 4.45 月分
(3)	職員共済組合負担金	標準報酬月額の 1,000 分の 197.4633、追加費用 1 人年間（4月1日の本俸 12 か月分）1,000 分の 19.9、事務費 1 人年間 10,860 円、特定健診 1 人年間 248 円及び6・12 月の期末勤勉手当の 1,000 分の 197.4633

歳入歳出予算事項別明細書

1　総　　括

歳　　入　　（単位　千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	比　較	本年度予算構成比(%)
1. 分担金	2,327,807	2,601,550	△273,743	58.9
2. 使用料及び手数料	357,250	369,762	△12,512	9.0
3. 国庫支出金	195,555	242,349	△46,794	5.0
4. 繰越金	1	1	0	0.0
5. 諸収入	301,491	264,058	37,433	7.6
6. 組合債	769,100	1,247,400	△478,300	19.5
歳　入　合　計	3,951,204	4,725,120	△773,916	100.0

歳　　出　　（単位　千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	比較	本年度予算額の財源内訳				本年度予算構成比(%)
				特定財源			一般財源	
				国府支出金	地方債	その他		
1. 議会費	3,653	3,652	1				3,653	0.1
2. 総務費	3,437,375	3,794,803	△357,428	195,555	769,100		2,472,720	87.0
3. 公債費	507,176	923,665	△416,489				507,176	12.8
4. 予備費	3,000	3,000	0				3,000	0.1
歳出合計	3,951,204	4,725,120	△773,916	195,555	769,100		2,986,549	100.0

2　歳　入

（款）1.分担金　　（項）1.分担金

目	本　年　度	前　年　度	比　較
1. 組合市分担金	2,327,807	2,601,550	△273,743
計	2,327,807	2,601,550	△273,743

（款）2.使用料及び手数料　　（項）1.使用料

目	本　年　度	前　年　度	比　較
1. 総務使用料	1,721	1,832	△111
計	1,721	1,832	△111

（款）2.使用料及び手数料　　（項）2.手数料

目	本　年　度	前　年　度	比　較
1. 焼却手数料	355,529	367,930	△12,401
計	355,529	367,930	△12,401

（款）3.国庫支出金　　（項）1.国庫補助金

目	本　年　度	前　年　度	比　較
1. ごみ処理施設基幹的設備改良事業費国庫補助金	195,555	242,349	△46,794
計	195,555	242,349	△46,794

（款）4.繰越金　　（項）1.繰越金

目	本　年　度	前　年　度	比　較
1. 繰越金	1	1	0
計	1	1	0

（款）5.諸収入　　（項）1.雑入

目	本　年　度	前　年　度	比　較
1. 雑入	301,491	264,058	37,433
計	301,491	264,058	37,433

（単位　千円）

節		説　明
区　分	金　額	
1. 組合市分担金	2,327,807	岸和田市・貝塚市分担金
		平成27年10月1日国勢調査　283,605人 岸和田市　194,911人（68.73%） 貝塚市　88,694人（31.27%） 2,327,807千円×2/10×1/2 = 232,780,700円 （A） 2,327,807千円×8/10×68.73/100 = 1,279,921,401円 （イ） 2,327,807千円×8/10×31.27/100 = 582,324,199円 （ロ） 岸和田市分担金 （A＋イ） = 1,512,702,000円 (64.984%) 貝塚市分担金 （A＋ロ） = 815,105,000円 (35.016%)

（単位　千円）

節		説　明	
区　分	金　額		
1. 土地使用料	539	電柱埋設地等使用料	539
2. 施設使用料	1,182	附属洗車場使用料	1,182

（単位　千円）

節		説　明	
区　分	金　額		
1. 廃棄物手数料	355,529	廃棄物処分手数料	355,529

（単位　千円）

節		説　明	
区　分	金　額		
1. ごみ処理施設基幹的設備改良事業費補助金	195,555	ごみ処理施設基幹的設備改良事業費補助金	195,555

（単位　千円）

節		説　明	
区　分	金　額		
1. 繰越金	1	前年度繰越金	1

（単位　千円）

節		説　明	
区　分	金　額		
1. 雑入	301,491	金属類等売払収入	31,815
		電力売払収入	255,116
		その他雑収入	1,027
		再商品化合理化拠出金	13,533

（款）6.組合債　　（項）1.組合債

目	本　年　度	前　年　度	比　較
1. 清掃施設整備事業債	769,100	1,242,400	△473,300
2. 廃棄物処理施設災害復旧事業債	0	5,000	△5,000
計	769,100	1,247,400	△478,300

（単位　千円）

節		説　明
区　分	金　額	
1. 清掃施設整備事業債	769,100	大阪湾圏域広域処理場(ﾌｪﾆｯｸｽ計画)整備委託事業債　5,800 ごみ処理施設増設事業債　253,100 ごみ処理施設基幹的設備改良事業債　366,200 クリーンセンター大規模改修事業債　144,000

3　歳　出

(款) 1. 議会費　　(項) 1. 議会費

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
1. 議会費	3,653	3,652	1				3,653
計	3,653	3,652	1				3,653

(款) 2. 総務費　　(項) 1. 総務費

1. 総務管理費	224,244	218,445	5,799				224,244

（単位　千円）

節		説明			
区分	金額	事業別区分		内訳	
1. 報酬	1,859	00000001		1 報酬	1,859
3. 職員手当等	764	議員報酬等		議員報酬	1,859
8. 旅費	640	（総務課）		3 職員手当等	764
9. 交際費	50		2,623	議員期末手当	764
10. 需用費	176	00000002		8 旅費	640
11. 役務費	159	議会運営事業		費用弁償	560
17. 備品購入費	5	（総務課）		普通旅費	80
			1,030	9 交際費	50
				交際費	50
				10 需用費	176
				消耗品費	30
				印刷製本費	146
				11 役務費	159
				筆耕翻訳料	159
				17 備品購入費	5
				図書購入費	5

（単位　千円）

1. 報酬	13,288	00000003		1 報酬	13,234
2. 給料	87,457	職員給与費		特別職報酬	300
3. 職員手当等	67,219	（総務課）		会計年度任用職員報酬	12,810
4. 共済費	33,947		201,881	会計年度任用職員超過勤務報酬	124
7. 報償費	8			2 給料	87,457
8. 旅費	1,735			一般職給	87,457
9. 交際費	20			3 職員手当等	67,219
10. 需用費	4,012			扶養手当	3,954
11. 役務費	6,748			管理職手当	5,136
12. 委託料	5,111			地域手当	5,882
13. 使用料及び賃借料	3,073			住居手当	3,024
				超過勤務手当	3,112
15. 原材料費	40			特殊勤務手当	158
17. 備品購入費	622			通勤手当	3,317
18. 負担金補助及び交付金	964			期末勤勉手当	37,984
				児童手当	1,860
				会計年度任用職員期末手当	2,792
				4 共済費	33,947
				健康保険組合負担金	766
				職員共済組合等負担金	32,420
				公務災害補償負担金	761
				18 負担金補助及び交付金	24
				負担金	24
		00000004		7 報償費	8
		総務管理事業		報償費	8
		（総務課）		8 旅費	1,715
			14,761	費用弁償	934
				普通旅費	781
				9 交際費	20
				交際費	20
				10 需用費	3,282

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
2. 公平委員会費	73	73	0				73
3. 監査委員費	154	216	△62				154

（単位　千円）

節		説　明	
区　分	金額	事業別区分	内訳
			消耗品費 1,362 燃料費 362 印刷製本費 1,052 光熱水費 406 修繕料 100
			11 役務費 6,748 通信運搬費 2,055 手数料 721 保険料 3,972
			12 委託料 401 その他の委託料 401
			13 使用料及び賃借料 1,045 その他の使用料及び賃借料 1,045
			17 備品購入費 602 庁用器具費 562 図書購入費 40
			18 負担金補助及び交付金 940 負担金 640 補助金 300
		00000010 電算システム運用事業 （総務課） 6,180	12 委託料 4,152 その他の委託料 4,152
			13 使用料及び賃借料 2,028 その他の使用料及び賃借料 2,028
		00000008 リサイクル啓発事業 （総務課） 1,348	10 需用費 730 消耗品費 554 印刷製本費 171 修繕料 5
			12 委託料 558 その他の委託料 558
			15 原材料費 40 原材料費 40
			17 備品購入費 20 図書購入費 20
		00000009 情報公開・個人情報保護事業 （総務課） 74	1 報酬 54 委員報酬 54
			8 旅費 20 費用弁償 20
1. 報酬 8. 旅費	63 10	00000011 委員報酬 （総務課） 63	1 報酬 63 委員報酬 63
		00000012 公平委員会事業 （総務課） 10	8 旅費 10 費用弁償 10
1. 報酬 8. 旅費	144 10	00000013 委員報酬 （総務課） 144	1 報酬 144 委員報酬 144

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
計	224,471	218,734	5,737				224,471

(款) 2.総務費　　(項) 2.施設費

1. 施設管理費	3,212,904	3,576,069	△363,165	195,555	769,100		2,248,249
計	3,212,904	3,576,069	△363,165	195,555	769,100		2,248,249

（単位　千円）

節		説　明	
区　分	金額	事業別区分	内訳
		00000014 監査事業 （総務課） 10	8 旅費 10 費用弁償 10

（単位　千円）

7. 報償費	36	00000015 施設管理運営事業 （環境技術課） 1,200,653	7 報償費 36 報償費 36
8. 旅費	20		8 旅費 20 費用弁償 20
10. 需用費	407,134		10 需用費 263,198 消耗品費 168,947 燃料費 22,936 印刷製本費 78 光熱水費 71,237
11. 役務費	28,581		11 役務費 28,581 通信運搬費 27,349 手数料 1,196 保険料 36
12. 委託料	901,681		12 委託料 885,239 その他の委託料 5,885 施設維持業務委託料 879,354
13. 使用料及び賃借料	53		13 使用料及び賃借料 53 その他の使用料及び賃借料 53
14. 工事請負費	1,608,976		
15. 原材料費	258,820		15 原材料費 15,923 原材料費 15,923
17. 備品購入費	7,193		17 備品購入費 7,193 庁用器具費 600 機械器具費 6,543 図書購入費 50
18. 負担金補助及び交付金	100		18 負担金補助及び交付金 100 負担金 100
26. 公課費	310		26 公課費 310 公課費 310
		00000016 大阪湾圏域広域処理場整備事業 （環境技術課） 6,446	12 委託料 6,446 その他の委託料 6,446
		00000017 クリーンセンター維持補修事業 （環境技術課） 1,399,948	10 需用費 143,936 修繕料 143,936
			14 工事請負費 1,013,115 工事費 1,013,115
			15 原材料費 242,897 原材料費 242,897
		00000019 基幹的設備改良事業 （環境技術課） 605,857	12 委託料 9,996 その他の委託料 9,996
			14 工事請負費 595,861 工事費 595,861

（款）3. 公債費　　（項）1. 公債費

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
1. 元金	487,874	895,643	△407,769				487,874
2. 利子	19,302	28,022	△8,720				19,302
計	507,176	923,665	△416,489				507,176

（款）4. 予備費　　（項）1. 予備費

1. 予備費	3,000	3,000	0				3,000
計	3,000	3,000	0				3,000

（単位　千円）

節		説　明	
区　分	金額	事　業　別　区　分	内　訳
22. 償還金利子及び割引料	487,874	00000022 長期債元金償還事業 （総務課） 487,874	22 償還金利子及び割引料 487,874 償還金 487,874
22. 償還金利子及び割引料	19,302	00000023 長期債利子償還事業 （総務課） 19,302	22 償還金利子及び割引料 19,302 利子及び割引料 19,302

（単位　千円）

29. 予備費	3,000	00000024 予備費 （総務課） 3,000	29 予備費 3,000 予備費 3,000

1）　継続費についての前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の執行状況等に関する調書

2）　債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

3）　地方債の前前年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書

4）　給　与　費　明　細　書

1）継続費についての前前年度末までの支出額、前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額並びに事業の進行状況等に関する調書

款	項	事業名	全体計画							前前年度末までの支出額	前年度末までの支出(見込)額	当該年度支出予定額	当該年度末までの支出予定額	翌年度以降支出予定額	継続費の総額に対する進捗率
			年度	年割額	左の財源内訳										
					特定財源				一般財源						
					国庫支出金	府支出金	地方債	その他							
				千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%
02 総務費	02 施設費	クリーンセンター大規模改修事業	2	320,000			288,000		32,000		320,000		320,000		40.00
			3	160,000			144,000		16,000			160,000	160,000		20.00
			4	160,000			144,000		16,000					160,000	20.00
			5	160,000			144,000		16,000					160,000	20.00
			計	800,000			720,000		80,000	0	320,000	160,000	480,000	320,000	100.00

２）債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書

事　項	限度額	前年度末までの支出（見込）額		当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳				
						特定財源				一般財源
		期間	金額	期間	金額	国庫支出金	府支出金	地方債	その他	
	千円		千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円
岸和田市貝塚市クリーンセンター運転管理業務委託料	3,540,339			令和3年度	0					0
				令和4年度	653,643					653,643
				令和5年度	679,788					679,788
				令和6年度	706,980					706,980
				令和7年度	735,259					735,259
				令和8年度	764,669					764,669
岸和田市貝塚市クリーンセンター基幹的設備改良工事	4,062,000			令和3年度	605,857	195,555		366,200		44,102
		令和元年度	39,809	令和4年度	890,361	288,146		538,000		64,215
		令和2年度	1,180,004	令和5年度	975,679	306,934		593,500		75,245

３）地方債の前前年度末における現在高並びに前年度末及び当該年度末における現在高の見込みに関する調書

区分	前前年度末現在高	前年度末現在高見込額	当該年度中増減見込額		当該年度末現在高見込額
			当該年度中起債見込額	当該年度中元金償還見込額	
1 普通債	千円	千円	千円	千円	千円
(1) 最終処分地施設整備事業債	77,545	74,422	5,800	7,946	72,276
(2) ごみ処理施設建設事業債	1,251,101	407,630	0	407,630	0
(3) ごみ処理施設増設事業債	947,817	1,163,119	253,100	69,947	1,346,272
(4) ごみ収集車等購入事業債	5,825	3,475	0	2,350	1,125
(5) ごみ処理施設基幹的設備改良事業債	25,200	783,100	366,200	0	1,149,300
(6) クリーンセンター大規模改修事業債	0	288,000	144,000	0	432,000
計	2,307,488	2,719,746	769,100	487,873	3,000,973
2 災害復旧債					
(1) 廃棄物処理施設災害復旧事業債	396,200	401,200	0	0	401,200
計	396,200	401,200	0	0	401,200
合計	2,703,688	3,120,946	769,100	487,873	3,402,173

4）給与費明細書

1 特　別　職

区分		職員数	給与費				共済費	合計	備考
			報酬	給料	職員手当	計			
		人	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
本年度	長等	2	300		0	300		300	
	議員	14	1,859		764	2,623		2,623	
	その他	22	261		0	261		261	
	計	38	2,420		764	3,184		3,184	
前年度	長等	2	300		0	300		300	
	議員	14	1,859		773	2,632		2,632	
	その他	22	261		0	261		261	
	計	38	2,420		773	3,193		3,193	
比較	長等	0	0		0	0		0	
	議員	0	0		△ 9	△ 9		△ 9	
	その他	0	0		0	0		0	
	計	0	0		△ 9	△ 9		△ 9	

2 一　般　職

(1) 総　括

区　　分	職員数		給与費				共済費	合　計	備考
	職　員	会計年度任用職員	報　酬	給　料	職員手当	計			
	人	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
本　年　度	21	(6)	12,934	87,457	67,219	167,610	33,947	201,557	
前　年　度	20	(5)	11,681	87,325	65,099	164,105	33,804	197,909	
比　　較	1	(1)	1,253	132	2,120	3,505	143	3,648	

( )内はパートタイム会計年度任用職員

	区　分	扶養手当	管理職手当	地域手当	住居手当	超過勤務手当	特殊勤務手当	通勤手当	期末勤勉手当	児童手当等	会計年度任用職員期末手当
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
職員手当の内訳	本年度	3,954	5,136	5,882	3,024	3,112	158	3,317	37,984	1,860	2,792
	前年度	4,278	4,680	5,867	2,298	3,463	135	2,614	37,434	1,870	2,460
	比　較	△ 324	456	15	726	△ 351	23	703	550	△ 10	332

２ 一　般　職

ア 会計年度任用職員以外の職員

区　　分	職員数	給与費				共済費	合　計	備　考
		報　酬	給　料	職員手当	計			
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
本　年　度	21	0	87,457	64,427	151,884	31,940	183,824	
前　年　度	20	0	87,325	62,639	149,964	31,496	181,460	
比　　較	1	0	132	1,788	1,920	444	2,364	

( )内はパートタイム会計年度任用職員

	区　分	扶養手当	管理職手当	地域手当	住居手当	超過勤務手当	特殊勤務手当	通勤手当	期末勤勉手当	児童手当等
職員手当の内訳		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	本年度	3,954	5,136	5,882	3,024	3,112	158	3,317	37,984	1,860
	前年度	4,278	4,680	5,867	2,298	3,463	135	2,614	37,434	1,870
	比　較	△ 324	456	15	726	△ 351	23	703	550	△ 10

２ 一　般　職

イ 会計年度任用職員

区　　分	職員数	給与費				共済費	合　計	備考
	会計年度任用職員	報　酬	給　料	職員手当	計			
	人	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
本　年　度	(6)	12,934	0	2,792	15,726	2,007	17,733	
前　年　度	(5)	11,681	0	2,460	14,141	2,308	16,449	
比　　較	(1)	1,253	0	332	1,585	△ 301	1,284	

(　)内はパートタイム会計年度任用職員

	区　分	期末手当
職員手当の内訳		千円
	本年度	2,792
	前年度	2,460
	比　較	332

（2） 給料及び職員手当の増減額の明細

区　　分	増 減 額	増減額の増減事由別内訳		説　　明	備　　考
	千円		千円	千円	
報　　酬	1,253	1　昇給に伴う増加分	1,253		
給　　料	132	1　昇給に伴う増加分	2,029		平均昇給率　2.50% 昇給に係る職員数　本年度 21人　前年度 20人　増 減 0人
		2　その他の増減分	△ 1,897	新陳代謝等に係る分	職員数の異動状況 現に在籍する職員数　その他　計 本年度　21人　0人　21人 前年度　20人　0人　20人 増 減　0人　0人　0人
職員手当	2,120	1　地域手当の増減分	15		地域手当の支給率 本年度　支給対象地域　全地域　支給率　6%　支給対象職員数　21人 前年度　支給対象地域　全地域　支給率　6%　支給対象職員数　20人 国の指定基準に基づく支給率　6%

区　　分	増　減　額	増減額の増減事由別内訳		説　　明		備　　考
	千円		千円		千円	
		２ 期末勤勉手当の増減分	550			期末勤勉手当の支給率 職制上の段階、職務の等級等による加算措置 本年度 支給期 6月 12月 計 (1.175) (1.175) (2.35) 有 支給率(月) 2.225 2.225 4.45 前年度 支給期 6月 12月 計 (1.175) (1.175) (2.35) 有 支給率(月) 2.25 2.25 4.5 国の制度 支給期 6月 12月 計 (1.175) (1.175) (2.35) 有 支給率(月) 2.225 2.225 4.45 (　)内は再任用職員
		３ その他の増減分	1,555	扶養手当	△ 324	
				管理職手当	456	
				住居手当	726	
				超過勤務手当	△ 351	
				特殊勤務手当	23	
				通勤手当	703	
				児童手当	△ 10	
				会計年度任用職員期末手当	332	

(3) 給料及び職員手当の状況

ア 職員1人当たり給料

区　　分		一般行政職
令和3年 1月1日現在	平均給料月額	333,309 円
	平 均 年 齢	44 － 7 歳
令和2年 1月1日現在	平均給料月額	328,472 円
	平 均 年 齢	43 － 10 歳

イ 初任給

区　　分	学　　歴	一般行政職
岸和田市貝塚市清掃施設組合	大 学 卒	190,400 円
	高 校 卒	161,600
国 の 制 度	大 学 卒	182,200
	高 校 卒	150,600

ウ 等級別職員数

区　　分	一般行政職（貝塚市派遣職員以外）			一般行政職（貝塚市派遣職員）		
	等 級	職員数	構成比	級	職員数	構成比
本 年 度	1等級	1 人	5.9 %	1級	1 人	25.0 %
	2等級	3	17.6	2級	0	0.0
	3等級	2	11.8	3級	1	25.0
	4等級	2	11.8	4級	0	0.0
	5等級	5	29.4	5級	0	0.0
	6等級	2	11.8	6級	2	50.0
	7等級	2	11.8	7級	0	0.0
	8等級	0	0.0	8級	0	0.0
	計	17	100	計	4	100
前 年 度	1等級	1 人	6.3 %	1級	1	25.0
	2等級	3	18.8	2級	0	0.0
	3等級	1	6.3	3級	1	25.0
	4等級	1	6.3	4級	0	0.0
	5等級	4	25.0	5級	1	25.0
	6等級	3	18.8	6級	1	25.0
	7等級	3	18.8	7級	0	0.0
	8等級	0	0.0	8級	0	0.0
	計	16	100	計	4	100

（等級別の標準的な職務内容：貝塚市派遣職員以外）

区　　分	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	7等級	8等級
標準的な職務内容	部長級	課長級	主幹級	係長級	主査	主任	一般職員	

（級別の標準的な職務内容：貝塚市派遣職員）

区　　分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級
標準的な職務内容	部長・参与	理事	課長・参事	課長補佐・主幹	係長・主査・主任	副主査・副主任	一般職員	

エ　定年退職及び勧奨退職に係る退職手当

区　　分	20年勤続の者	25年勤続の者	35年勤続の者	最高限度	その他の加算措置等	備考
支給率等	月分 24.586875	月分 33.27075	月分 47.709	月分 47.709	定年前早期退職 特　例　措　置 （2%～45%加算）	
国の制度（支給率等）	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職 特　例　措　置 （2%～45%加算）	

オ　特殊勤務手当

区　　分	全　　職　　種
給料総額に対する比率	0.10 %
特殊勤務手当の名称	ごみ焼却業務

カ　その他の手当

区　　分		内　　容	国の制度との異同	国の制度と異なる内容
扶養手当	貝塚市派遣職員以外	配偶者　6,500円 配偶者（一般行政職の職員でその職務の等級が1等級のもの）　3,500円 子　10,000円 父母等　6,500円 父母等（一般行政職の職員でその職務の等級が1等級のもの）　3,500円 子のうち16歳～22歳の者につき　5,000円 加算	同　じ	
	貝塚市派遣職員	配偶者　6,500円 配偶者（一般行政職の職員でその職務の級が1級及び2級のもの）　3,500円 子　10,000円 父母等　6,500円 父母等（一般行政職の職員でその職務の級が1級及び2級のもの）　3,500円 子のうち16歳～22歳の者につき　5,000円 加算		
住居手当	契約者本人で家賃支払い者（限度額28,000円）		同　じ	
通勤手当	交通機関利用者　実費（6箇月定期券相当額）を支給 交通用具使用者　通勤距離・使用用具に応じて支給		同　じ	

議案第４号

公平委員会の委員選任につき同意を求めるについて

公平委員会の委員に次の者を選任したいので、地方公務員法第９条の２第２項の規定により議会の同意を求める。

令和３年３月 26 日提出

岸和田市貝塚市清掃施設組合

管 理 者　　永 野　耕 平

記

１　住　　所　　貝塚市[redacted]

１　氏　　名　　清原　泰司

１　生年月日　[redacted]